

東工取

軽油上場、順調な滑り出し

来年にも市場設計を見直し

記念パーティーに400人

東京工業品取引所の石油市場に9月8日、軽油が試験上場された。9時6分に中澤忠義理事長が取引開始のスイッチを入れた。初日の出来高は7万6,596枚(1枚は100キログラム)と取引所側の予想をはるかに超え幸先のよいスタートを切った。当日夜、東京都千代田区丸の内東京會館で記念パーティーを行い、400人が参加、前途を祝った。

価格は2月限が前場、後

場とも一時ストップ安をつ

けるなど波乱もあった。

平成11年7月のガソリンの初日の出来高が2万5,000枚強、灯油が9,000枚、平成13年9月の原油の初日出来高が2万4,000枚だったたので、それと比べると3倍以上だった。商いには当業者の参加もみられた。

使い勝手を向上させる

上場記念パーティーでは冒頭の挨拶で中澤理事長は、次のように述べた。

「税金問題などがからんで主要石油製品としては最後の相場になったが、それだけに関係業界の期待は大きい。中東情勢などからして輸送業界、産業界にとって価格リスクヘッジのために時機を得た上場だと思っている。既に取引条件緩和についていろいろ注文が出ているので、なるべく早い時期に関係省庁と協議のうえ、来年にも市場設計を見

直したい。」

産業インフラの機能充実を

次いで平沼赳夫経済産業大臣のメッセージ

副大臣が代読した。

「近年、経済構造の変化などからリスクマネーの必要が高まっている。それができる場として商品先物取引市場は重要な場になる。取引の厚みを増し、公正な

価格形成の場、現物調達のためには産業インフラの機能を発揮してほしい。」



賑やかに記念パーティー(東京丸の内・東京會館)

石油連盟渡文明会長の代理として山浦紘一専務理事が次のように大きな期待を表明した。

「平成13年末に石油業法が改正されて石油製品は精製から流通の末端に至まで完全に自由化されている。こうした中で、価格の指標機能を持つ先物価格に期待がかかっている。ぜひ、適正な運営をお願いしたい。」

「今回の軽油は未課税取

なっており、市場メカニズムが有効に働くことを期待している。」

最後に衆議院議員で自由民主党税制調査会の武藤嘉文会長が、「石油製品については環境保護面で課税問題が出てくるが、商品先物業界は以前とは様変わりして健全になってきている」と締めくくった。

LMEセミナー開く

東工取と連携強める

LME(ロンドン金属取引所)は9月24日、東京工業品取引所のセミナー

でLME教育セミナーを開催、約50名が参加、引き続き東京・日本橋蛸薬町のロイヤルパークホテルで東工取がLME歓迎レセプションを開いた。この催しを通じて、それぞれ連携を強めることを確認し合った。

午後5時からの歓迎レセプションで、中澤忠義東工取理事長は、「これを機会にアルミをはじめいろんな形で協力関係を築いていきたい」と述べた。



歓談するサイモン・ヒルCEOと中澤理事長

東穀協会

拡大キャンペーン表彰式

東穀協会は「農産物市場拡大強化キャンペーン」を行っていたが、9月12日、東京穀物商品取引所ビル7階で表彰式と懇親会を行った。



東穀協会拡大キャンペーン表彰式

多々良義成会長が「キャンペーン期間中、取組高が3割、出来高が5割増えた」とあいさつ。東京穀物商品取引所森實孝理事長が「穀物の時代がくると思っている」と述べたあと、表彰式に移った。

出来高のトップはオムニコで100万円相当の記念品を受け取った。以下、オリオン、入や萬成証券、ハーベストフューチャー、東京ゼネラルなど、上位15社が表彰された。

29日に就職セミナー

関東地区人事部会

関東地区商品取引員人事定者(学生)、取引員人事担当者との本音での討論を予定している。コーディネーターは土橋正・青山学院大学法学部教授。

なお、昨年は情報交換会(懇親会)を合わせて33大学の52名と商品取引員54社の108名、メディア・取引所・団体関係の50名、計約210名が参加した。

50周年記念式典

福岡商品取引所

福岡商品取引所は10月1日、開所50周年を迎え、ホテルニューオータニ博多で記念式典と祝賀パーティーを開催した。

パーティーではまず、中村光弘理事長の挨拶の後、(社)全国商品取引所連合会の森實孝理事長、先物協会の二家勝明会長などが祝辞を述べ、乾杯後、懇談に移った。

同取引所は昭和28年10月1日19番目の取引所、関門穀物商品取引所として発足。昭和29年1月26日、砂糖の上場とともに、名称を関門商品取引所と改め、さらに平成13年5月1日、福岡への移転に伴い名称を福岡商品取引所と改めた。

とうもろこし、ブローライなど九州に根ざした畜産関係の商品に力を入れるとともに、関西以西唯一の商品取引所として、東アジアをにらんだ戦略を展開している。



軽油取引開始式

「その制度的基盤整備のために産業構造審議会商品取引所分科会で、信頼性と利便性向上のための制度改革案づくりに取り組んでおり、年内にとりまとめて、制度改革を具現化する。」

「石油業界は市場メカニズムの環境整備のため、原油処理量、石油製品・半製品の在庫量などを週単位で把握、公表するようにした。先物市場への上場と一体と